

会議録

1 附属機関の名称

犬山市図書館協議会

2 開催日時

【第1回】令和5年7月26日（水） 午後1時30分から午後2時40分まで

3 開催場所

市立図書館2階視聴覚室

4 出席した者の氏名

(1) 委員 山住委員、石田委員、小幡委員、古川委員、大藪委員、森岡委員

(2) 執行機関 犬山市教育部文化スポーツ課図書館

事務局 滝教育長、長谷川教育部長、坂野文化スポーツ課長、高木課長補佐（図書館長）、渡辺主査補、南主事

5 議題

(1) 予約棚の設置について

6 傍聴人の数

0人

7 内容

(次第に基づいて進行)

(1) 教育長あいさつ

(2) 辞令伝達

(3) 会長及び副会長の選出

会長を山住委員、副会長を古川委員に決定。

議事録の署名人は会長から大藪委員及び森岡委員が指名された。

(4) 報告事項

① 令和4年度図書館事業報告について（資料1：図書館年報）

事務局より図書館年報を用いて説明を行った。

質問事項なし。

② 令和5年度図書館事業計画について（資料2～5）

事務局より資料2から5を用いて説明を行った。

【以下、発言内容】

古川委員：図書購入計画のうち、紙芝居のことで意見がある。現在、教育画劇社の紙芝居が多いが童心社の物は少ない。童心社は単品で購入でき

るが、教育画劇はシリーズで購入しないとイケない。質としては童心社のほうが良い。イベントで図書館が所蔵している作品を使おうと思った時に使いづらい。そのため私物を持参しているが、もうすこし紙芝居も良い作品を所蔵してもらいたい。シリーズで購入すると中にはあまり良くない作品もあるため、童心社を単品で購入できるなら所蔵を増やしてもらいたい。そういったことは可能か。

また、ブックキャンプに紙芝居を置いていない理由はあるのか。ボランティア活動（ふうちゃんブック）を行っている際に紙芝居を利用者におすすめすることもあるので、ブックキャンプにも紙芝居を置いてほしいと思う。

事務局：恐らく管理上や設置スペースの問題で1階児童室に紙芝居をまとめて設置していると思う。頂いたご意見を受け、選書についてもご相談させていただきながらブックキャンプへの設置についても検討していきたい。

石田委員：予算があれば欲しい紙芝居はたくさんあるので、要望を出すことは可能なのか。ボランティア活動で必要な紙芝居が図書館に所蔵がなく、私物を持参している。

事務局：ボランティア連絡会で選書についてのアンケート等を実施したこともある。次回のボランティア連絡会で各ボランティア団体も含め、選書については意見を伺いたい。

③ 犬山市子ども読書活動推進計画の改定について（資料6）

事務局より資料6を用いて説明を行った。

質問事項なし。

④ 視聴覚ブースの改修及び座席予約システムの導入について（資料7）

事務局より資料7を用いて説明を行った。

質問事項なし。

⑤ 学校連携事業について（資料8～9）

事務局より資料8～9を用いて説明を行った。

質問事項なし。

【以下、発言内容】

小幡委員：出張文庫は既の実施しているのか？

事務局：6月から設置している。

小幡委員：以前小学校を訪問した際に、学校連携司書も小学校に来ており、出張文庫を見せてもらったがとても良かった。学校外部の方からのおすすめとして紹介文も書いてあったが、想定以上に子どもたちも関心を寄せており、効果を感じていると言っていた。そのように学校連携司書が働きかけることで、学校で孤立してしまいがちな学校司書も相談相手ができ心強いと思うし、学校連携司書の重要性を感じたので、ぜひ続けてもらえれば喜ばれると思う。

(5) 議事

① 予約棚の設置について（資料10）

事務局から資料10を用いて説明を行った。

【以下、発言内容】

山住委員：予約はスマートフォンのアプリで行うのか。
事務局：スマートフォン、パソコンどちらも利用可能。利用者が当館のwebOPACにログインをして予約する運用になっている。なお、webOPACの予約は市民に限られる。
山住委員：ログインするためのIDとパスワードはあらかじめ発行されているのか。
事務局：IDは図書館カードの番号、パスワードは初期値が利用者の生年月日8桁で作成している。
山住委員：パスワードは近年10桁必要だと言われている時代のため、脆弱性については配慮したほうがよいと思う。
事務局：パスワードについては利用者自身で変更するよう案内している。
大藪委員：セルフ予約棚の導入による運用の違いとは、利用者が本をカウンターに持ってくるのか、予約棚に取りに行く違いか。
事務局：導入前後の違いはお見込みのとおり。在架予約というのは、誰かが借りていなくても予約をすることができ、職員が本を取り置いておくサービスを指す。以前は既に別の利用者が借りている本にしか予約することができなかったが、令和2年度に新型コロナウイルス拡大の対応策として在架予約を始めた。
大藪委員：システムとしてどのように変わるのか。
事務局：予約棚は棚にアンテナが内蔵された特製の物であり、通常の本棚とは異なる。アンテナが本に貼られたICタグを読み取ることで、利用者に本の場所を伝えることができる。
大藪委員：承知した。

予約棚の設置について、事務局の示した案を説明し、承認。

次回、2月または3月に開催。

令和 年 月 日

上記議事内容に相違ないことを確認する。

(署名) _____

(署名) _____